

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	鈴木 吏良	所属	浦和大学社会学部総合福祉学科 心理支援コース
研究会等名称	第2回日本心理学会メディア心理学研究会シンポジウム COVID19 と自殺報道 — 危機状態におけるメディアと報道のあるべき姿 —		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)          会員 4名 (うち認定心理士 4名)          非会員 約70名 (うち認定心理士 0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p><b>【背景と目的】</b>          著名人の自殺及びその手段や場所等の詳細に触れる報道は、報じ方によっては「子どもや若者、自殺念慮を抱えている人の自殺を誘発する可能性」がある。厚生労働省では、メディア関係者に対して、そのリスクについて留意するよう、WHO『自殺対策を推進するためにメディア関係者に知ってもらいたい基礎知識 2017年版』(いわゆる『自殺報道ガイドライン』)を踏まえて報道するように呼びかけている。しかし、実際には、発信するメディア側にも事情があり、ガイドラインの全てが守られているとは言えない。また在宅が多くなるコロナ禍における影響も示唆されており、受信側はより不安を煽られることもある。そこで、この度、第2回メディア心理学研究会シンポジウムを開催し、メディア側と心理関係者側が忌憚ない意見を交わす場を設けた。そして、コロナ禍におけるメディア報道、特に自殺に関する報道が多くの人々の心に与える影響について考察し、今後のあるべき姿について模索した。</p> <p><b>【シンポジウム概要】</b>          2021年11月26日、浦和大学大講堂(さいたま市)において自殺関連分野の第一人者である精神科医の高橋祥友氏が基調講演を行い、その後、メディアと心理の関係者によるパネルディスカッションを行った。それぞれの立場での現状や今後の課題が報告され、活発な意見が交わされた。フロアの心理・福祉系の学生からの質問にも応答した。</p> <p><b>【今後の目標、方針】</b>          シンポジウムでは、メディア心理学研究会が目指す、今後の目標や方針が確認された。主に、以下のテーマである。</p> <p>①メディアによる自殺報道が人の心理に与える影響の検証          センセーショナルな自殺報道によるリスク(例:自殺リスクの高い人は自殺報道の後に模倣自殺を起こす危険性がある、有名人の自殺や、自身と同じ境遇の人などの自殺は、後追いの危険性が高くなること)について、説得力を持たせるために、今一度実態調査を行う。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症の影響で、健康面だけでなく、生活面や仕事面でも不安を抱えている人が多い現状において、自殺防止につながるような報道のあり方を、メディア側と協働で開発していく。</p> <p>③WHOのガイドラインでは、自殺関連報道として「やるべきでないこと」「やるべきこと」が明確に示されているが守られないケースもある。今後、その要因や、守られるための要点を明らかにし、メディア心理学の観点から、現状に沿ったガイドラインをメディア側と協働で開発していく。</p>		

## 研究集会参加者リスト

<研究会名> 日本心理学会メディア心理学研究会 日本心理学会メディア心理学研究会第2回シンポジウム				
研究集会開催日：2021年 11月 26日(金)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	鈴木吏良	浦和大学社会学部総合福祉学科心理支援コース 臨床心理士、公認心理師、精神保健福祉士	○	○
2	益子行弘	浦和大学社会学部総合福祉学科心理支援コース 社会福祉士、公認心理師	○	○
3	加藤邦子	浦和大学社会学部総合福祉学科心理支援コース 臨床心理士、公認心理師、臨床発達心理士	○	○
4	栗延孟	浦和大学社会学部総合福祉学科心理支援コース 社会福祉士	○	○
5	高橋祥友	精神科医（自殺関連分野の第一人者）		
6	角田智哉	けやき心の発達診療所、精神科医、臨床心理士		
7	高原史郎	関西メディカル病院副院長、医師		
8	谷本香澄	関西メディカル病院		
9	村木一郎	警察庁（シニア産業カウンセラー）		
10	岩下香織	キャリアカウンセラー（元日本心理学会会員）		
11	田中威至	テレビ大阪株式会社		
12	片山俊之	テレビ大阪株式会社		
13	前川始	テレビ大阪株式会社		
14	中村拓人	NHK日本放送協会		
15	田川あかね	神戸新聞社		
16	飯田将茂	映像カメラマン		
17	その他	心理・福祉系の参加者 約60名		
18				
19				
20				
21				
22				
29				

(様式5)

2022年4月30日

日本心理学会研究会

2021年度会計報告書

研究会名称 日本心理学会メディア心理学研究会

研究会番号 21013

助成金額 ¥15,000

年 月 日	項 目	金 額
2022年3月16日	研究会報告書作成費 (領収書)	¥28,160

---

支出合計 ¥28,160